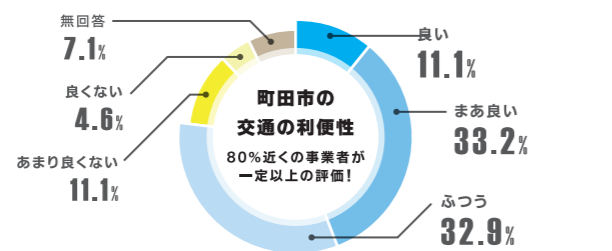


働く

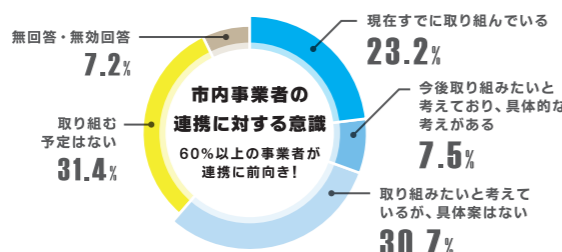
小田急電鉄小田原線や京王電鉄相模原線、JR横浜線と3つの鉄道路線が乗り入れ、ビジネスで重要な都心や横浜へのアクセスが抜群!

市周辺には圏央道や東名高速道路、国道16号や246号が走り、物流や国際空港へのアクセス面でも優位性あり!

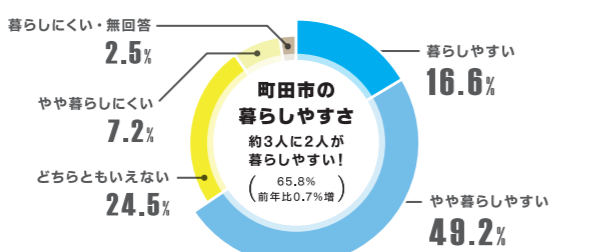
事業者間の連携やスタートアップ企業の活動もさかんで、イノベーションが生まれやすい土壌!



「(仮称)町田市産業振興計画19-28」策定に係る事業者アンケート 町田市の事業環境に関する評価を問う設問



「(仮称)町田市産業振興計画19-28」策定に係る事業者アンケート 異業種、地域、支援機関等との連携の取り組み状況に関する設問



「2017年度町田市市民意識調査」 町田市での暮らしについて「暮らしやすさ」に関する設問



「2017年度町田市市民意識調査」 町田市での暮らしについて「町田市に住み続ける意向」に関する設問

暮らす

町田駅の周辺は、百貨店やライブハウス、個性的なラーメン屋やバーなど、さまざまな世帯の方が思い思いに時間を過ごせるお店が充実!

郊外には、タイワンリスと遊べる「町田リス園」や江戸時代の宿場街の雰囲気を残す「小野路里山交流館」、ハイキングに最適な里山の原風景や都市農業が可能な場所など、多様な楽しみ方が可能なまち!

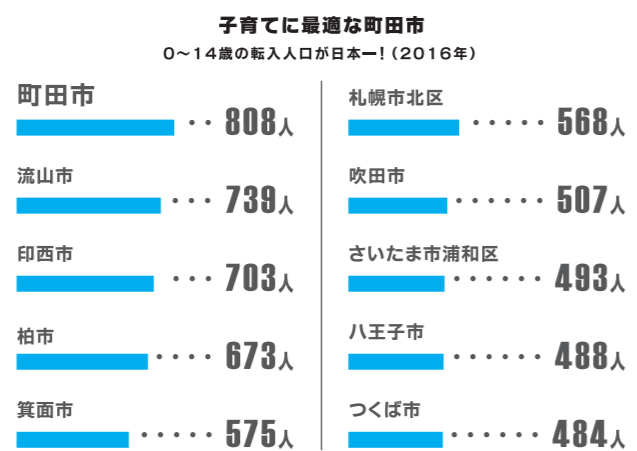
都心や箱根・江ノ島方面のアクセスも良く、穏やかな住環境と合わせて住むまちとして選ばれることも多数!

育てる

2016年の、0歳~14歳の転入人口超過数が全国1位!(政令市除く)

地域子育て相談センターやマイ保育園制度など、未就学児を持つ家庭への支援が充実!

市内全域にある「子どもセンター」や「子どもクラブ」、放課後子ども教室「まちとも」や「冒険あそび場」など、大人が見守る遊び場が多く、小中学生のお子さんを持つ親世代も安心して働くことができる環境!



「住民基本台帳人口移動報告 平成28年(2016年)調査結果」(総務省統計局) <http://www.stat.go.jp/data/idou/2016np/kihon/yoyukyu/index.html>

町田市の概要

東京都の南端に飛び出し、神奈川県に包まれるような場所に位置する「町田市」。江戸時代に「二・六の市」「絹の道」などで栄えたところから、さまざまな方が東西南北から集まっては町田市で商売をし、「商都・町田」として発展しながら、現在は商圏人口約230万人の大きなマーケットの中心となっています。

さらに、商業核の外側には、昭和中期に造成された「団地」をはじめとした住宅街が大きく広がり、ベッドタウンとして約43万人の方が暮らしています。住宅エリアの外側には、東京では貴重な「豊かな緑」が広がり、里山の原風景や都市農業など、さまざまな魅力があふれています。



電車でのアクセス

| | |
|---------------------|-------------|
| 小田急線町田駅から(快速急行利用) | 新宿駅 約31分 |
| | 片瀬江ノ島駅 約35分 |
| | 小田原駅 約52分 |
| JR横浜線町田駅から(快速利用) | 横浜駅 約28分 |
| | 橋本駅 約11分 |
| | 八王子駅 約22分 |
| 東急田園都市線南町田駅から(急行利用) | 渋谷駅 約34分 |
| | 二子玉川駅 約22分 |

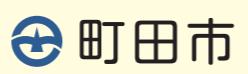
空行き高速バスでのアクセス

| | |
|------------|------------|
| 町田バスセンターから | 羽田空港 約55分 |
| | 成田空港 約125分 |

車でのアクセス

| | |
|----------------|-------------|
| 東名高速道路横浜町田ICから | 東京IC 約12分 |
| | 御殿場IC 約46分 |
| 圏央道相模原愛川ICから | 八王子JCT 約21分 |
| | 溝巻名JCT 約8分 |

※ 上記は実際の運行状況、交通状況により異なります。



町田市経済観光部産業政策課
お問い合わせ 千194-8520 東京都町田市森野2-2-22
TEL: 042-724-3296 FAX: 050-3101-9615

制度のさらに詳しい内容は、
町田市 企業立地 で検索!
または、右記のQRコードから!!



町田市企業等立地奨励金制度について

町田市では、市内に事業所を新規に立地、または市内で事業所の増設を行った企業等を対象に、奨励金制度を設けています。

特徴
1

奨励金は原則として前払い、投資初期の費用にも充てていただけます！

特徴
2

工場は敷地面積1,000㎡以上、事務所は延床面積500㎡以上から対象！

特徴
3

事業所が立地可能な市内全域で、多様な業種が対象に！

奨励金の種類 (2018年4月現在)

1. 企業立地奨励金Ⅰ型

中規模な事業所の立地から幅広く対象となる、固定資産税・都市計画税等の相当額の一部が交付される奨励金です！

| 操業義務年数 | 10年間 | | | |
|--------|-------------|--------------------------------|--------|---------|
| 対象要件 | 面積 | 投下固定資本相当額 | | |
| | 工場等の場合 | 敷地面積：1,000㎡以上 | 1億円以上 | |
| 事務所の場合 | 延床面積：500㎡以上 | 2,000万円以上 | | |
| 奨励金額 | 金額 | 交付年数 | 上限(総額) | |
| | 新設の場合 | 固定資産税・都市計画税、事業所税の合計額に相当する額 | 5年間 | 8,000万円 |
| | 増設の場合 | 固定資産税・都市計画税、事業所税の合計額の1/2に相当する額 | 3年間 | 4,000万円 |

2. 企業立地奨励金Ⅱ型

大規模な事業所を立地する際、イニシャルコストにあたる金額相当額の一部が交付される奨励金です！(交付は一度限り)

| 操業義務年数 | 10年間 | | |
|--------|---|------------------|-------------------------|
| 雇用要件 | 着手の日から3年以内に5名以上の町田市民の雇用を行う(3市民雇用奨励金の対象にもなります) | | |
| 対象要件 | 面積 | 投下固定資本相当額 | |
| | 工場等の場合 | 敷地面積：5,000㎡以上 | 1億円以上 |
| 事務所の場合 | 延床面積：3,000㎡以上 | 2,000万円以上 | |
| 奨励金額 | 金額 | 上限 | |
| | 取得の場合 | 投下固定資本相当額の1/20 | 工場等：2億円 事務所：6,000万円 |
| | 賃貸の場合 | 月額賃料12ヵ月分相当額の1/5 | 工場等：3,000万円 事務所：2,000万円 |

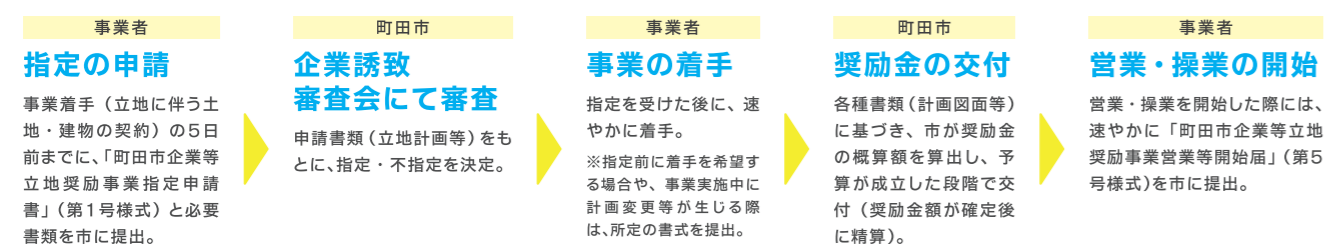
3. 市民雇用奨励金

事業所立地にあたり、町田市民を新たに雇用する際に交付される奨励金です！

| | |
|------|----------------------------|
| 対象要件 | 企業立地奨励金Ⅰ型の指定を受けていること |
| 奨励金額 | 市民雇用1名につき、10万円(3年間で、15名まで) |

奨励金交付のフロー

奨励金の交付を受けるには、立地計画についてあらかじめ市と協議の上で、奨励金交付対象者の指定を受ける必要があります。



Case 1

町田市企業等立地奨励金制度

新日本電子株式会社
代表取締役 津国 充孝

Case 2

町田市企業等立地奨励金制度

マイクロテック・ラボラトリー株式会社
代表取締役 二関 晋司



— 新事業所を整備したきっかけや狙いは？

私どもの会社は2001年5月、町田市に成瀬事業所を開設しました。さらに2004年には、成瀬が丘にテクノセンターを開設し、稲城市にあった事業所の機能の移設を含め、成瀬地区に全社の機能を集約しました。

以来14年間、成瀬の地で事業を続けていますが、業務拡大に伴う生産フロア不足の解消と、2拠点を集約することによる生産力のさらなる強化を目指し、ここ数年、全部門が集約できる工場・事務所に適した地を探しておりました。

新たな事業所の立地場所は、現在拠点としている町田地区の利便性から、町田市近隣で探していましたところ、現本社の隣地という好立地の物件があり、新工場の建設に至りました。

従業員の働き方という面で、通勤や住居などの変更を必要ないことも、この地を選んだ大きなきっかけでした。

— 町田市の企業立地奨励金制度を利用された感想は？

本制度利用企業の第1号だったこともあり、手探りでの手続きでしたが、町田市経済観光部産業政策課の皆さまのサポートにより、スムーズに進めることができました。

今後も、新卒・中途・障がい者の雇用を含めた採用面についても、ぜひ町田市と連携していきたいと考えています。

— 町田市で事業を行うことのメリットは？

町田市で事業を行うことで、JR横浜線と小田急線の2路線が使用可能となり、横浜・東京方面へのアクセスが良く、お客様への訪問や外出・出張などの際に短時間で移動が可能なのが大きなメリットだと感じています。

— 今後、町田市でどのように事業を拡大・展開していきたいですか？

既存事業の設計・製造技術を高めるとともに、新工場の整備によって増床したフロアで、自社製品の開発・生産を図ってまいります。今後、日本では第四次産業革命が進み、工場はスマートファクトリーに進化していきます。立地の条件等に制限されない、従業員に働きやすい生産工場を目指していきたいですね！



企業紹介

通信・電子機器のシステムや装置の開発・設計・製造・検査・保守サービス、通信・電子機器の現調・保守点検・修理等を一手に手がける。エレクトロニクスの発展に伴い常に進化する情報通信技術の世界で、無線関連システムのイノベーターとして成長を続けている。社是である「和、創業、意欲」の精神に則り、常に市場の変化を捉え、確かな技術と新たな製品で、人や社会の未来へのつながりに貢献する。



— 新事業所を整備したきっかけや狙いは？

私どもの会社では、今回整備する新事業所から歩いて10分程度のところに工場を有しており、生産とともに研究開発拠点や倉庫としても使用しています。工場内にはほとんど余っているスペースがなく、相模原市にある本社にも開発部隊があり、生産効率という部分でなかなか上げられる余地がありませんでした。

新事業所が出来ることで、研究開発拠点の集約や倉庫機能の拡大を実現することができ、営業事務所としても広く使えるようになるため、開発・生産から発送、そして営業と、各部門で生産性は飛躍的に上がると見込んでいます。



— 人材の活用という面からはいかがでしょうか？

新事業所は町田駅から徒歩圏内であり、周辺にも住宅地が広がっていることから、人材の確保に有利で、既存の従業員を配置転換などする必要がないということも大きなメリットです。

私どもの会社では、現在でもほとんどの従業員は徒歩や自転車での通勤ですので、このような環境で新たな事業所を整備できることは非常にありがたいです。

— 町田市の企業立地奨励金制度を利用された感想は？

新事業所整備に際して、町田市の企業誘致制度を活用できたことは、会社にとって財務面をはじめとしてとてもプラスになりました。制度利用の手続きなどもスムーズに行うことができ、大変ありがたかったです。

今後も、町田市を拠点として、少量多品種をモットーにお客様のニーズに沿った優れた商品を世の中に送り出していきたいですね！



企業紹介

メカトロニクス分野におけるイノベーションを目指し、1981年に設立。メカトロ機器の機械系と電機系の橋渡しを行う、エンコーダの心臓部分であるスリット板から開発を始め、現在はさまざまな形態のエンコーダ本体の開発・製造・販売を手がける。今後は、人と機械の調和をもたらすさらなるイノベーションを進める体制づくり、メカトロニクス分野におけるモーションコントロールの要望にも対応。あらゆる分野でのデジタル制御の進化に貢献し、技術者と力を合わせて夢を実現していく。

<用語説明> 事業所：工場等(製造業等の生産施設、研究施設)または事務所のこと 新設：町田市内に事業所を持たない企業が、新たに土地・建物を取得・賃借して市内に事業所を設けること 増設：町田市内すでに事業所を持つ企業が、土地・建物を取得・賃借することで事業所の規模を拡大したり、別に事業所を設けたりすること 投下固定資本相当額：新設・増設に伴い新たに取得・賃借した土地や建物の評価額のこと 市民雇用：事業所の新設・増設に伴い、着手(契約等)の日以降に町田市内に住所を有する方を常勤の労働者(雇用保険法第4条第1項に規定する被保険者に該当する方)として1年以上雇用すること

<備考> ・企業立地奨励金Ⅰ型とⅡ型は、併用可能です。 ・奨励金の交付は、当該奨励金にかかる予算が成立することが条件です。 ・奨励金の対象となった事業所で、所定の年数にわたり操業を継続できなかった場合、奨励金の返還を求めます。